



ご寄贈ありがとうございます

「日出みその会」が
みそ20kgを給食センターに
日出みその会（鈴木喜代子
会長、会員13人）から11月12
日、給食センターに手づくり
みその寄贈がありました。
寄贈されたみそは20kgで、
会員が栽培した大豆で今年
1月に仕込み、造られました。
給食センターでは、豚汁な
どに使い児童らに提供する
予定です。
みそはこの日、くんねっふ
静寿園にも寄贈されました。



今年もスノーマーチを寄贈

訓子府フードプランの会馬铃薯班から11月4日、給食センターに今年もじゃがいも「スノーマーチ」320kgの寄贈がありました。スノーマーチは、そうか病やシストセンチュウなどの病害に強く、デンプンの含有量も多い品種だそうです。

同会の洞 政義班長が給食センターを訪れ、「地元の食材をぜひ子どもたちに」と菊池町長に手渡しました。

給食センターでは、さっそくカレーライスなどに活用し、児童たちに食べてもらったほか、今年度中にさまざまな料理に使う予定です。



子どもから大人まで舞台で熱演

学芸会や芸能発表

個人・団体の功績をたたえ功労者等顕彰式



訓子府町功労者等顕彰式が11月3日、町公民館で行われました。町顕彰条例による受賞者が、功労表彰8個人、善行表彰3個人。

また、町教育委員会の文化・スポーツ奨励賞は2個人6団体の方が受賞されました。

式では、一人ずつ表彰状などが手渡され、会場に訪れた方は、受賞者をお祝いするとともに今後の活躍を願っていました。

居武士小学校



訓子府小学校



会場から大きな拍手

子どもから大人まで舞台で熱演

文化・芸能の秋にちなみ、秋の文化祭芸能発表が11月3日、訓子府小学校の学芸会が11月8日、居武士小学校の学芸会が11月15日それぞれ開かれました。
芸能発表は、民謡やカラオケをはじめ、子どもたちのヒップホップダンスなど多くの団体、個人が熱演。
訓小、居小は、インフルエンザの影響で延期しての開催。劇や遊戯など日ごろの練習の成果に、訪れた父母などから大きな拍手が送られていました。



秋の文化祭芸能発表

187人が力泳 KAPPA マスターズ開催

「第15回KAPPA マスターズ水泳大会」が、11月8日温水プール「KAPPA」で開かれました。

訓子府をはじめ北見、札幌、釧路など道内各地から187人が参加し、水しぶきを上げながら力強く泳ぎ、自己の記録に挑戦しました。参加者の力泳で41の大会新が生まれました。

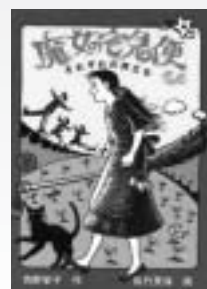


図書館から 新しい本が入りました

魔女の宅急便 6

角野 栄子/作

児童書



魔女の少女キキは、黒猫のジジといっしょに、ひとり立ちの旅に。コリコの町で始めた仕事は「空飛ぶ宅急便屋さん」。シリーズ最終巻。

全日本ゆるキャラ公式ガイドブック

みうらじゅん/著

一般書



地方自治体主催のイベントや町おこしなどのPRのために作られた「ゆるキャラ」。ゆるキャラ全180体のプロフィールや誕生の背景などを紹介。

バス水没事故 幸せをくれた10時間

中島 明子/著

ノンフィクション



台風でバスが水没。暴風雨の中、屋根と木の上にいた37人の乗客が全員救出された。暗闇の中、10時間もの間、いったいそこで何が起きていたのか。

まちのわだい

生ごみ堆肥を無償還元

生ごみ堆肥の無償還元が11月1日、置戸町の堆肥供給センターで行われました。町内で排出された生ごみは、同センターに持ち込み、堆肥化し、年1回皆さんに還元しています。今回できた堆肥は約30トンで、大勢の方が詰めかけ、肥料袋などに詰めていました。



417頭が退牧 牧場から「わが家へ」



町共同利用模範牧場の一斉退牧が、10月30日行われ、417頭が「わが家」に戻っていきました。春に入牧した牛は5か月間、広い牧場でゆったりと過ごしてきました。なかなかトラックに乗り込まず、飼い主などを手こずらせる牛もいましたが、夕方にはすべての牛がトラックに揺られ、牧場を後にしました。